



小雀公園 里山通信



Vol.5 来春の景観畑



おかげさまでハロウィンスタンプラリーは盛況となり、追加の用意もしたのですが、それでもハロウィン当日を待たずに予定数に達したため終了となりました。参加してくれたちびっ子たち、楽しんでいただけましたか？また何かの折に開催したいですね！

ハロウィンが終わればクリスマスやお正月がやってきて、あっという間に梅や桜の開花が待ち遠しい春となります。大人になると1年の過ぎる時間が本当にあっという間で、慌ただしくていやになってしまいます。『来年のことを言えば鬼が笑う』なんて言いますが、次の事を早く考えておかないと、間に合わなくなってしまいそうです。そして公園の管理作業も、先々の事を色々考えながら、予定を立てていたりします。

公園の東端にある『景観畑』ですが、春に花が咲くように、秋のうちから耕したり種をまいたりと色々な準備をしています。例年は菜の花の種をまいているのですが、実は菜の花って同じ場所に毎年続けて育てるのが、非常に難しい植物なのです。小雀公園でも土壌改良をするなどして、だましだまし菜の花を育てていて、なんとなくよく咲く年もあれば、貧弱でかろうじて畑が黄色く見えるという年もあります。なので今年は菜の花をキッパリあきらめて、レンゲの種をまいてみました。

レンゲも菜の花と並んで、日本の里山を代表する春の花です。昔はいたるところに水田が広がっていたのでなじみ深い植物だったのですが、今では田んぼ自体が珍しくなっていて、レンゲを目にする機会がすっかり減ってしまいました。レンゲはすき込むことで肥料(緑肥)になることから種がまかれていたのですが、春に咲くあのかわいらしい風貌の花は、田んぼを身近に育った世代の方には、なんともノスタルジックな気持ちにさせられるのではないのでしょうか。

レンゲは草丈の低い植物なので観賞しにくいかな？とか、そもそもうまく育ってくれるかな？とかいろいろな心配は尽きませんが、来春にピンク色の花畑になることを祈りつつ、見守っててくださいね。



色々な草と競合しながら生育中です！



小雀公園 ☎045-853-1945
<https://midocomi.com/Kosuzumepark.html>
横浜市指定管理者 緑とコミュニティーグループ

